

進路だより 第1号



江東区立深川第四中学校

校長 関根 淳之

進路指導主任 寺田 智子

発行：令和8年4月15日(水)

令和8年度がスタートし、いよいよ最上級生になりました。中学校生活も残りあと1年です。卒業後の進路についてより真剣に、より具体的に考えていかなければなりません。そこで、今後の予定をお知らせするために「進路だより第1号」を作成しました。この「進路だより」は、進路に関するさまざまな情報を生徒の皆さんや保護者の方々にお知らせするために、今後も随時発行していく予定です。進路を考えるための資料としてご活用ください。

※年度末に配付したものと同様ですが、予定を一部更新しています。

日時	予定（変更になることがあります。）
4月中旬	第1回進路希望調査配付
5月GW明け	第1回進路希望調査提出
6月15～16日	前期中間考査（5教科）
6月18日	第1回到達度テスト
6月中旬	第2進路希望調査配付
6月17日	第1回進路説明会 NEW
7月22日～7月29日	三者面談
9月9日～11日	前期期末考査（9教科）
9月14日	第2回到達度テスト
10月上旬	第2回進路説明会
10月中旬	第3回進路希望調査提出
10月26日～11月5日	三者面談
11月10日～12日	後期中間考査（9教科）
11月13日	第3回到達度テスト
11月中旬	第4回進路希望調査提出
11月下旬の日曜日	ESAT-J（予備日・12月13日）
11月30日～12月8日	三者面談 ※1
12月15日～	私立入試相談開始 ※2
1月中旬～	私立推薦入試開始
1月26～27日（まだ未定）	都立推薦入試
2月中旬	都内私立一般入試
2月21日（まだ未定）	都立一般入試（第一次）
2月25～26日	後期期末考査（5教科）
3月中旬	都立一般入試（第二次）

※1 受験（受検）校の最終決定をしていただきます。

※2 中学校から私立高校に推薦入試・併願優遇入試の受験希望者名簿を提出します。

※予定は変わることがあります。また、未定のものについては決まり次第ご連絡いたしますので
よろしく願いいたします。

■中学校卒業後の進路

大きく分けて進学するか、就職するかのどちらかを選択することになります。進学の場合、高等学校（全日制3年・定時制3～4年・通信制3年以上）、高等専門学校（5年）、専修学校などに進むことになります。

■高等学校の種類

①公立高校

都道府県によって設立された高校。都立高校の場合、東京都内に住所を有し入学後も都内から通学することが必要。

②私立高校

それぞれの教育理念をもつ学校法人によって設立された学校。私立大学により設立された高校の場合、系列大学への入学に対する優遇措置がある場合がある。

③国立大学付属高校

国立大学によって設立された学校。

■高等学校の学科

①普通科

高校卒業後、さらに上級学校への進学を想定。中学校と同様に教科の学習を主に行う。

②専門学科

工業系、商業系、芸術系、農業系などに関する学科がある。専門科目の学習を通して、社会に出てすぐに役立つ技能の修得を目指す。

③総合学科

自分の興味関心や適性にあう科目を履修する。

裏面に続きます。

★調査書とは

高校受検（受験）に際して提出する、中学校での学習の成果や生活の記録などを記入書類のことで、中学校が作成します。3学年の学習の成績は、4月から12月までの学習活動を総合した評価（A/B/C）・評定（5～1）を掲載することになっています。

★推薦入試（都立・私立）について

推薦入試は、「学業・人物などが優れている者」が受検（受験）することのできる制度です。深川第四中学校の推薦基準として、「あ・じ・み」を常に意識し、実践していること、校内の諸活動に意欲をもって取り組んでいること等を定めています。私立高校の場合、各校が定めた基準（成績、出欠席、資格等）を満たしていることが必要です。

★併願優遇制度とは

「第一志望校が不合格になった場合に入学する」約束のもと、高い確率で合格を保証する制度です。ただし、各校が定めた基準を満たすことが必要です。

【お願い】

上級学校について十分に調べ、「行ける学校」ではなく「行きたい学校」を見つけていきましょう。その上で、①第一志望を「都立(国立)」とするか「私立」とするのか、②推薦入試の受検(受験)を希望するか、③第一志望校が不合格の場合、併願校(第二・三志望校)はどの学校か。併願優遇入試の受験を希望するか、などについて考え始めてください。

大切なことは、多くの学校を知りその中から自分が行きたい学校を見つけることです。ぜひ限られた時間を有効に活用し、インターネット等を活用したり、実際に足を運んだりして情報収集を進めてください。

今後は、進路に関する資料や案内等が多数配付されます。中には、奨学金等に関する情報も含まれますので、ご家族でよく読み、内容を確認してください。締め切り等が設定される配付物もあります。早め早めに準備し、締め切り厳守をお願いします。

不明な点や心配な点等は遠慮なく、担任や学年の教員に相談してください。よろしくお願いします。

※ 2026年高校入試は（都の教育委員会によると）

- ・全日制課程の分割募集廃止：全日制的分割募集は廃止された。
すべての定員が前期（学力検査による選抜）に移行。
- ・平均受検倍率： 1.16倍。 昨年より0.04ポイント減少
- ・過去2番目に低い倍率。定員割れ：66校で発生。

★2027年度（令和9年度）入試においても、「キャリア・パスポート」と「自己PRカード」の使い分けが明確化される見通し

【自己PRカード】

- ・これまで「全員提出（合格後に提出含む）」が基本だったが、2026年度（令和8年度）入試以降は、**面接を実施する選抜（推薦選抜など）に志願者のみが提出する運用へと変更。**
- ・推薦選抜などを受ける場合： 出願時に提出し、面接の資料として活用される。
- ・面接がない学力選抜のみを受ける場合： 原則として提出不要となる方向。

【キャリアパスポート】

- ・全員、入学後に高校へ引き継がれる。